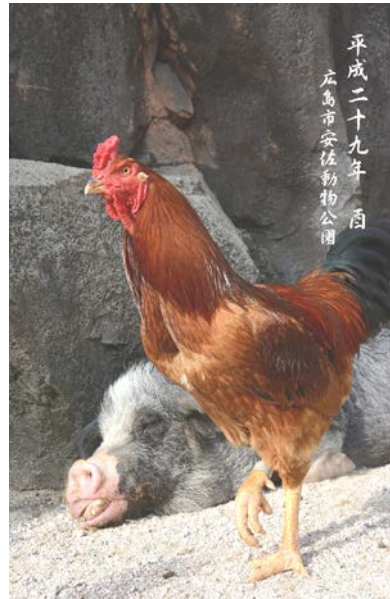


ASA

第65号

2016年 12月20日

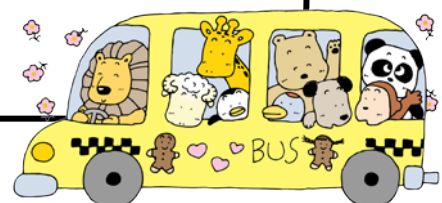
ずうぼらだよい



今年もお世話になりました。来年もケッコーな一年になりますように

65号 もくじ

・ツアーガイドレポート	2~5
・12月の連絡会の報告	6
・研修報告「クロサイのこれまでとこれから」	7
・園外研修(三段峡)レポート	8
・作業グループ活動報告	9~10
・ひつじ村から	11
・動物園ニュース	12
・予定表(1~2月)	13~14





ツアーガイドレポート11月



- ・開催日：平成28年11月6日(日) 10:30~11:30
- ・天候：晴れ
- ・解説動物：フラミンゴ(K)⇒キリン(I)⇒ゾウ(T)
- ・ボランティアスタッフ：M、T、A、N、T
- ・参加人数：14人

栗栖さんが、フラミンゴの解説を始める前にカープの話から入りました。11月も3人がツアーガイドをしましたが、最初にする人は、やはり緊張するでしょう。お客様の中に看板を持ってくれる方もいらっしやって自然な交流もありました。

トップバッターのKさん、次にIさん、最後にTさんのガイドを紹介します。

*フラミンゴのKさん



フラミンゴは、集団生活をします。野生のフラミンゴは、アフリカや南アメリカにある塩分が高く、アルカリ度の非常に強い湖で生活しています。フラミンゴは、かつて日本ではベニヅルと言われていたそうですが、今は死語となっているようです。嘴の縁には、ラメラと呼ばれる歯が、噛みたいになっている組織があり、濾過摂食しています。

ASAZOOに展示している種は、オオフラミンゴ、ベニイロフラミンゴ、コフラミンゴ、チリーフラミンゴの4種類。フラミンゴとヒトの足元の関節の違いなども興味深い話でした。

*キリンのIさん

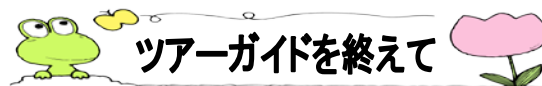


明るく、そしてとても楽しそうにガイドされていました。キリンの首の骨(頸椎)の実物を実際に使ったガイドは、お客様も興味深々でした。絵や写真を使ったクイズで野生のキリンの住んでいる所、ASAZOOで展示しているキリンの名前、キリンの特徴をガイドし、動物園と野生のキリンの住んでいる環境の違いがよく分かりました。

*ゾウのTさん

Tさんは、ゾウのツアーガイド2回目です。調教のコマンド（命令）などは英語で行われています。日本語は、女言葉、男言葉などがあるが、英語には無いので、ゾウだけでなく動物の調教には広く英語が使われています。

その他、ゾウの鼻、キバ、ヒフ、耳、ゾウの漢字（象）を使った字など話されました。他の人にはない細かなところまでガイドされていてとてもいいガイドでした。



<ツアー後の反省会>

* Kさん

☆1年前は、10分以上かかっていたが、今回は、10分以内と短めにガイドするよう気を付けました

☆ガイドの最後に質問があったので、園の人に聞いてから伝えるようにします

* Iさん

☆言いたいことをスムーズに言えました

☆キリンの個体識別ができませんでした

☆ガイドを聞いてもらう対象年齢をどこに合わすか迷いました

* Tさん

☆全然思ったことが言えませんでした

* ボランティアスタッフの意見

☆時間は丁度良かったが、早口でした（時間を気にしすぎると焦って早口になるので、焦らないで解説しましょう）

☆今年生まれた子を紹介すると動物園ガイドなので親しみが持てます

☆共通して言えることは、資料を見せる時は、ゆっくりと見せましょう

☆寺田さんが解説をしている時の写真が撮れていなくて申し訳ありませんでした

一人で記録のメモ取りと写真撮影の両方をするのは難しいので手伝っていただけるとありがたいです

他、たくさんの意見がでました。

(記録：H. A)



ツアーガイドレポート12月



- ・開催日：平成28年12月4日(日) 13:30~14:30
- ・天候：雨
- ・解説動物：オオサンショウウオ(K)⇒ラクダ(K)⇒マレーバク(K)
- ・ボランティア：A、O、K、I、K、A、K、D、T、T、T、H、M
- ・参加人数：5名

あいにくの雨。園内の人影も少なく、開始時刻になっても集合場所に参加者は見えません。そこで、はちゅうい館にいたお客さんに声をかけて集まってもらいました。オオサンショウウオは「はちゅうい館」の中で、ラクダとマレーバクは「野外ステージ」でガイドを実施しました。

*オオサンショウウオのK. Kさん

安佐動物公園の副園長さんからASAZOOボランティアに。現在は、オオサンショウウオの研究者としてお忙しく飛び回っておられるそうです。

オオサンショウウオは、最大の両生類で国の天然記念物です。オオサンショウウオは小さな目がありますが、見えません。しかし、体に水の動きなどを感じるイボイボがあり、エサの魚を捕らえることができます。大きな口で水と魚を一緒に飲み込みます。オオサンショウウオの前足の指は4本、後足の指は5本。(模型が登場して、指の数を数えた参加者が驚きと感激) 安佐動物公園では、1979年に世界初の飼育繁殖に成功し、1224個の卵が孵化しました。



*ラクダのH. Kさん

雨のため実物のラクダの前でガイドができないのは初めてと戸惑いながらも、お客さんとやり取りしながらのフレンドリーなガイドでした。

ラクダには、ヒトコブラクダとフタコブラクダがいます。ASAZOOにいるのはフタコブラクダです。ラクダのイメージ通りヒトコブラクダは砂漠に生息していますが、フタコブラクダは、雪の降る寒いところに生息するラクダです。野生のフタコブラクダは、約800頭しかなくて、野生のパンダの数より少ないそうです。食べ物は植物のみなので、糞は臭くないです。また、水分を体の外に出さない体の仕組みがあり、糞は乾いています。



*マレーバクのT. Kさん

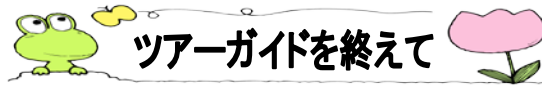
ガイドボランティア1期の小寺さんは、今回はマレーバクのガイドです。ゆったりとした穏やかな話声は聞く人の耳にすうっと入ってきます。

マレーバクは、4種類いるバク科の仲間の一つです。アジアや南北アメリカに生息しています。マレーバクの赤ちゃんは「ウリボウ」と呼ばれるイノシシの赤ちゃんのような模様があります。約半年で大人と同じ白黒の毛になります。赤ちゃんの時の色は、木の陰などに身を隠すのに適しています。バクは夜行性です。大人になってからの体の色は、夜には黒い部分は見えにくく、後ろ半分の白い部分だけが見え、バクの姿に見えないので外敵から身を守ることができます。



黒いネットで夜に早変わり

(記録：H. A・T. T)



<ツアー後の反省会>

☆解説者から

- ・参加者0人かと思っただが、少人数でも聞いてもらえてよかった。
- ・雨のため実物のいないところで初めてガイドをした。今まで調べたことをまとめて話したが、動物園のテメとフーコの話をもっとしたらよかった。
- ・解説に合わせて動物を見てもらうことができないので、実物のいないところでのガイドは難しかった。



マレーバクの赤ちゃん

☆その他

- ・標本や実物を見せて解説したら、お客さんは触りたくなる。回して触らせてあげたり、壊れやすいものなどは、他のスタッフが見せて回ったりした方がよい。
- ・ツアーガイドの時は、一人約10分としているが、お客さんの様子を見て短めにするとか長めにするとか柔軟にしてもよいのではないか。
- ・今回は、参加の人数は少なかったが、ノリのよいお客さんに助けられて楽しいガイドになった。
- ・一方的な話だけでなく、対話をしたり、問いかけたりする参加型も楽しいガイドになる。

<今後のツアーガイドについて>

- 1月、2月のツアーガイドはお休みです。
- 3月4日(土) 13:30~14:30
今年度初めて土曜日にツアーガイドを実施します。日ごろ参加が難しい方、作業ボラの方もご参加ください。
解説動物はシフゾウ⇒レッサーパンダ⇒シロフクロウ と西園をガイドします。ボランティアスタッフの方は、13:00にボラ室に集合をお願いします。

イタビカズラ —その後— 秋のイタビカズラ

安佐動物公園のキリン舎に生えているイタビカズラ。秋、ASAZOOに来たらたくさん実をつけていました。夏と秋では、こんなに違うのねと感じていたのは、私だけでしょうか。食べることのできないイタビカズラ。断面図は、どんなのかな？ 知っている人は教えて下さい。緑色の実と熟して赤色の実、染色にも使えるのかな？ ヒツジの毛は、何色に染まるのかな？



(投稿：H. A)



<12月の連絡会>

日時：12月4日(日) 10:00～

参加者：14名

場所：動物科学館2階

*今回の主な話題

<ツアーガイドの在り方につて>

前回に引き続き、参加者14名に管理課の谷口さんにも加わっていただき、ツアーガイドの現状の考察と今後の在り方について話し合いました。

現在、個人または団体(ツアーガイドに参加する等)でガイドの活動をしているのは、ガイド登録全体の三分の一ほど。ボランティアの活動は、ツアーガイド、スポットガイド、バックヤードガイドの補助、ヒツジ村、イベントの手伝いなどさまざまあり、自分に合った活動をしている。それら全ての活動への参加でカウントすると4割ほどになる。せっかく意欲をもってボランティアとして登録しているので、できるだけ皆が活動できるようにするにはどうしたらよいか考えていきたい。

①半期の計画を立てる

今年度は、4月から新しくガイドになった人に積極的にツアーガイドでガイドをしてもらった。このことはガイド活動への定着に繋がり、ガイドをする上での自信になっている。今後、みんなでガイド活動を盛り上げるために、まず半年の長期ガイドツアー計画を立ててみよう。何か理由があるかもしれないが、登録はしているが活動の機会が少ない人も計画に組み入れて、ベテランがサポートしながら、チャレンジしてもらおうことが今後の活動につながると考えられる。

②ツアーガイドのやり方

日曜日に実施しているツアーガイドを、ガイドやお客さんのことを考えて土曜日の実施も考えてよいのではないかな。

気候の良い季節には、お客さんも多いのでA・B・C同時にガイドするやり方もやってみては。そもそもA・B・Cという3つの分け方はこれでよいのだろうか。

③その他

- ・来年度のボランティアの研修のときに、ボランティアの活動について内容を具体的に知らせてほしい。

- ・(最近、偶数月のガイド連絡会への参加人数が少なくなっている。)

- ・バックヤードガイドの補助をすることで、自分のガイドに役立つのではないかな。

- ・ガイドの動物の変更や増やすことはできる。その際は、飼育係から話を聞いたり、バックヤードで研修をしたりしてからにする。分からないことや動物の情報を得たいときには、谷口さんを通して。

参加者から、以上のように積極的な意見がでました。2月の連絡会ではさらに具体的な計画にしていく予定です。

次回のガイド連絡会の予定

日時：2月5日(日) 10:00から

場所：動物科学館2階

内容：ガイドの皆さんへの連絡

来年度ツアーガイドについて 上半期の計画 など

* 顔を合わせて話をするだけでも、つながりができます。皆さん是非ご参加ください。

(記録：H. A・T. T)



研修報告「クロサイのこれまでとこれから」



講師：飼育・展示課 屋野丸 勢津子

サイの仲間には、シロサイ・インドサイ・スマトラサイ・ジャワサイ・クロサイがいる。

国際自然保護連合のレッドリストの分類と基準によると、スマトラサイ・ジャワサイ・クロサイは、CR（ごく近い将来に野生での絶滅の危険性が非常に高い種。絶滅寸前の種）である。インドサイは、VU（絶滅の危険が増大している種）、シロサイはNT（現時点での絶滅危険度が低いが、生息条件の悪化によっては絶滅危険度が高くなる恐れのある種）である。サイが絶滅の危機に陥っている主な原因は、密猟である。サイの角は効果が疑わしいにも関わらず、漢方薬としての人気が高い。また中近東の国々では、ステータスとして短剣の柄に角を使う。サイの角1本で数年分の生活費が手に入るため、サイの生息地に暮らす人々は生活のためにサイを密猟することがある。現在の野生での生息数は地球上にたった約3500頭。

このように絶滅の危機にあるクロサイを救うために動物園では、「種の保存」をおこなっている。限られた飼育条件下では、長期的に近親繁殖を防ぐことが必要である。そのために、世界中で飼育されている約300頭の血統を管理する必要がある。安佐動物公園で飼育しているのはクロサイである。安佐動物公園は、クロサイの交換・貸し出しを実施すること、異なる2つの血統の飼育すること、国内の血統管理を統括することで「種の保存」に努めている。現在、世界中の動物園に約300頭、日本中の動物園に23頭がいる。安佐動物公園には、ハナ、サキ、ヘイルストーン、ニコの4頭がいる。

クロサイは、アフリカのサバンナに生息する。生まれた時の体重は30～40kg、大人の体重は1200～1300kg、妊娠期間は約450日、発情間隔は約25日。クロサイの雄、雌は単独で生活し、それぞれ広い縄張りを持っているので出会いは多くない。しかし、夜明け頃、夕暮れ前の限られた時間に、水場にやってきて出会う。限られた出会いの場だが、相手が気に入らないと「寝たふり」をしてスルーするという。

安佐動物公園の初代のペアは、クロ（雄）とハナ（雌）で仲が良く10頭の子どもを産んだ。国内1番の出産記録だ。ハナとクロの子どもたちは全国そして海外へも進出し、クロとハナの血縁のあるクロサイは63頭から65頭もいる。クロ・ハナが高齢化に伴い新たな次世代ペアを形成するため、国際的な交換により安佐動物公園のサツキ（雌）がホノルル動物園に行き、ホノルル動物園から1991年生まれのヘイルストーン（雄）が安佐動物公園にやってきた。そこで、クロとハナのためには第2クロサイ舎を作りそこでのんびり隠居生活をしてもらうことになった。クロサイ舎では、イヨ、サキとヘイルストーンが繁殖を目指す。実はヘイルストーンは、世界一の子だくさんお母さんのエリーが産んだ14頭の子どもの1頭だ。

1999年3月に安佐動物公園にやってきた頃のヘイルストーンは、新しい環境に驚いたのか2か月間暴れて飼育係も怖くて近づけないほどだった。その後落ち着いたヘイルストーンは、定期的性交尾を繰り返して繁殖への期待は高まった。ヘイルストーンとイヨの間にストーム、ヘイルストーンとサキの間にクラッグ、アディ、ロック、ココ、ユキが順調に誕生していった。ところが、ヘイルストーンがサキとユキを相手に大暴れし、同居を見送ることになった。直前まで定期的な交尾をしていた後、同居を見送ったことで子どもはできていないだろうと思っていたが・・・。

サキの体型に変化が見られた。肩が丸みをおび、腰骨のあたりも丸くなり、おなかがふっくらしてきた。妊娠か？サキの体調も悪そうになり、起き上がらない、エサを食べない、ぼーっとしている様子から病気か？と心配した。その頃（出産の5か月前）、お腹がびくびく動く様子が見られ、胎動か？！とも思われたが、1年余りの妊娠期間中に交尾していたことになり疑問視された。しかし8月にはおっぱいが膨らみおっぱいが出ていることも確認され、やはり妊娠していたと確信できた直後、朝クロサイ舎を見に行くと赤ちゃんサイ（ニコ）が誕生していた。



国内のクロサイは現在、11つの動物園で23頭が飼育されている。しかし、クロ・ハナの血を引いていないのはヘイルストーンを入れて5頭だけという現状がある。血縁が濃くなることでの弊害は今のところみられないが、絶滅危惧種のクロサイを守っていくためには、今後海外の血も入れて動物園での繁殖をしていきたい。いつの日か、人間が自然と上手に共存することができるようになった時、動物園で増やしたクロサイをアフリカの大地に返すことができるといいなと思っている。

園外研修レポート



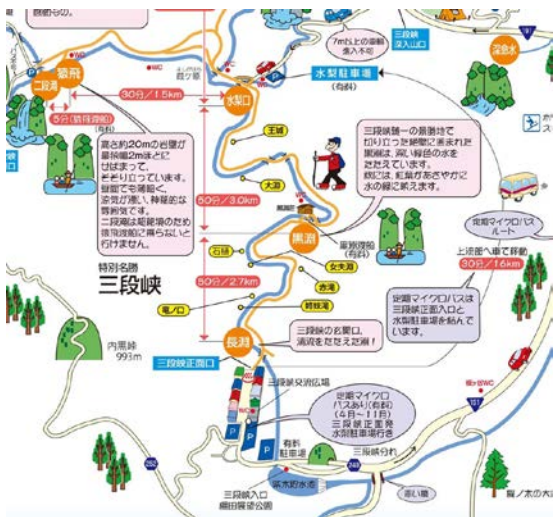
三段峡ハイキング

(記録：T. T)

報告：作業5期 S. K

三度目の正直で漸く11/16に出かけることができた。

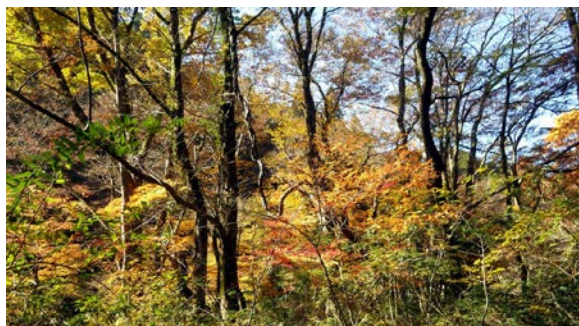
ボラ仲間のOさんが三段峡でボランティアガイドをされていて、平日ならガイドをしてくださるとのこと。昨秋計画、僕の腰痛で1年延期。今秋11/8で計画するも雨天でまたもや来春に持ち越す予定だったが、11/12の作業日にOさんからの呼びかけで11/16に6名の参加を得て実現できた。



さて、前置きはこれくらいで当日の様子を綴っていきましょう。

8:30に動物公園駐車場に集合→2台の車に分乗し可部線の元三段峡駅前駐車場9:20着→9:40のバスで水梨口に10:15頃着、いよいよハイキング開始だ。

バス停から葦ヶ原まで行き吉川旅館跡の楓などを見学、その後水梨口から三段峡正面口まで5.7kmをユックリのペースでOさんのガイドを受けながら下ってゆく。



三段峡は四国出身のカメラ技師が発見、その後大正14/10に国の名勝に指定、さらに昭和28/11に特別名勝に指定されている。

今年の紅葉は天候の所為か少し色合いが悪い。ただし元々三段峡には紅い葉の木が少なく紅葉と言うよりも黄葉がふさわしいかもしれない。

11:00頃に黒淵休憩小屋に到着し早めの昼食を摂る。弁当はOさん推奨の戸河内インター付近の弁当屋で購入。250円から50円刻みで好みの弁当が選べる。持参したコッフェルとガスコンロでお湯を沸かしインスタント味噌汁と食後のコーヒーをいただいた。昼食後、黒淵渡船で川面から断崖絶壁の紅葉を楽しむ。

船頭が操る竹竿が船を進める。船が水面を切る音だけの幽玄な世界だ。



遊歩道を歩いていると平日にも拘わらず多くの人とすれ違う。九州からの団体、福山からのカメラを担いだグループ、3人連れの中国or台湾人、若い女性の一人ハイキングなども居た。

三段峡正面には14:00頃到着→動物公園駐車場15:00頃到着

久しぶりのハイキングは約14,000歩だった。足が疲れるかと思ったが案外と疲労感は無く心地よい1日を過ごすことができた。動物公園での作業ボラだけでは無く年に1~2回はこうしたハイキングも楽しい物でまた計画したい。



作業ボラ活動報告



10月15日(土)

ぴーちくパーク広場・レストラン周りにマリーゴールド 剪定。

芋畑・正面駐車場入り口前、草取り。

テント売店周りハンギングのゼラニウム花がら摘みと追肥。

(参加者17名)

11月5日(土)

アカゲザル舎前・展望広場・レストラン周り、マリーゴールド撤去⇒

ベゴニア、パンジー、ビオラ植付け

レストラン周りの石鉢 土の入れ替え。

(参加者11名)

11月12日(土)

ピーチク広場マリーゴールド撤去⇒パンジー植付け

展望広場 パンジー、ノースポール植付け。

園主催の芋堀大会の助勢。

(参加者13名)

11月19日(土)

ハンギングのゼラニウム撤去⇒パンジー植付け

花文字(ASA ZOO 2017)に植付け。

(参加者17名)

12月3日(土)

正面入口前、ヒヒ山前、売店前の丸鉢、大丸鉢 サルビア撤去⇒鉢底にチューリップの球根植付け、その上にパンジー植付け

正面駐車場入り口前 マリーゴールド撤去⇒葉ボタン、ビオラ植付け

ミニ売店横 サルビア撤去⇒ノースポール植付け

(参加者16名)

(報告: K. S)



球根はしっかり深く
植えるのがコツ!

作業グループのみなさんへ

☆平成29年1月2月の活動日のご連絡です

- ・1月…21日(第三土曜日)
- ・2月…4日、18日(第一・三土曜日)

*冬場の作業も多々あります。寒さ対策を十分にしておいて参加してください。

*活動日には、雪が降らないように!



作業ボラ活動報告



10月頃から「2000万人の畑に葉ボタンを植えようと思うけど、どんなデザインにしようか。」と、作業ボラの活動日の度に何度も話に上がっていました。アイディアはいくつか出ていましたが、決まっていたのは、葉ボタンをメインにすることだけ。11月中旬にやっと「ASAZOO 2017」という案に落ち着きました。次はレイアウトです。ASAZOOを白で2017を赤で。ASAZOOは2本植えて太字にしよう、と、どんどん決まっていきました。



植える作業日の1週間前から、ボラのKさんは、畑の縦と横の長さを測り、センターを決め、1文字の大きさの枠を下書きしてと、密かに下準備をしてくださっていました。

その甲斐あり、当日割り付けはとてもスムーズに進みました。線描きでバランスを確かめて植穴を掘って葉ボタンを仮置きしてみます。対面のゾウ舎の前の高台から全体を見て、「Sはちょっと形が悪いよ。カーブを丸くして。」「Zが数字の2に見えるから、角をはっきりさせて斜めの線はまっすぐに。」と声が飛び

ます。ASAZOOを白の葉ボタンで1本植えたところで、「2重植えはやめて、葉ボタンの周りをピオラで縁取りしよう。」と、Kさん。植えながら初期の案は変化していきます。しかし、確かにその方が柔らかい感じの字になりました。

ほぼ植え終えたときに通りかかった男の子が、「ア・サ・ズ・ウ 2017～」と声を出して読んでくれました。その声が完成の合図のように思えました。11/29にはasazoo公式ツイッターで紹介していただきました。皆さん、ぴーちくパークの前の畑をのぞいてみてください。(報告：T. T)



12月3日(土) 今日はとても良い天気、日向は暑く感じるくらい作業日和でした。

私は園の入り口の花壇にチューリップとピオラを、駐車場入り口にある花壇に葉ボタンとピオラを植える作業を行いました。7月に種を蒔いた葉ボタンが大きくなって、白の葉ボタンはおいしいのかちょっと虫に食べられているようです。紫は穴あきも少なく割ときれいな葉のまま、虫にも好みがあるのでしょうか？

チューリップの球根とピオラの苗を植えながら、ふと「こういった植え方の配置」や「いつどの時期に何を植えるか」を考えるのって誰なんだろう？結構大変なんじゃないかなと思いろいろ聞いてみました。主にKさんが考えられているとの事で本人にもお話を聞きました。家で植えるものと公園で植えるものは一緒ではないこと、きれいに長く楽しめるように考えておられて、自分で講習に行ったり、調べたりして勉強してこられたそうです。

駐車場の入り口も以前は花壇ではなく芝が生えて石がゴロゴロあったのですが今はきれいになり、お正月には葉ボタンが出迎えてくれます。

作業ボランティアの皆さんが地道にやっている一つひとつの積み重ねが本当にきれいな花を咲かせて、安佐動物公園に彩りを添えてくれています。枯れた花や、さびれた花壇があれば活気のない動物園だという印象でしょう。きれいな花が出迎えてくれればワクワクして動物園に来たその気持ちも倍増するはずですよ。

作業の活動を支えてくれているベテランの作業ボランティアの方々からこれからもお話を聞かせていただいて、私も少しでも役立てられるよう活動を続けていきたいと思いました。

(報告：Y. H)





ひつじ村から…

ひつじ村は、毎月第4日曜日、動物園のどこかで村開き。安佐 ZOO ぴーちくパークで暮らすヒツジたちにもらった羊毛を、洗う、解す、染めるなど、イベントの材料準備が主な作業です。グループ問わず、興味ある方、通りすがりの見学がてらお茶だけ参加でもOK、住民登録随時受付中！

*活動報告

•10月23日(日)

12月のボライイベント「フェルトで雪だるま」の材料を100セット準備しました。

•11月は休み。

•12月3日(土)

ボライイベント「フェルトで雪だるま」。

受付9:00開始、9:30スタート、40分ごとに20名で5回、休憩なしで12:50まで100名参加。例年のことですが、思ったより大変という方が多く、40分では少々時間が足りないようでした。中には「カメを作る」「ペンギンでなくちゃイヤ」とお母さんを困らせている子たちもいましたが、にぎやかに無事終了。

当日、お手伝いして下さった皆様、お疲れさまでした。ひつじ村では来年もと思っています。これに懲りず、またおねがいします。興味ある方ぜひひつじ村へ。できれば羊の毛を洗うところから参加してみてください、お待ちしております。

イベント開始前に、恒例の科学館入り口のツリーをフェルトの動物たちで飾り付けました。今年は一段とにぎやかに飾っています。クリスマスまで飾っていますので、ちょっと足を止めて見ていってくださいね。



asazoo公式ツイッターより

(ひつじ村村長より)

*2017年1月・2月のひつじ村予定

•1月22日(第4日曜日) 10:00~15:00

•2月26日(第4日曜日) 10:00~15:00

作業内容:糸つむぎの材料準備のための解毛など

◎動物園ニュース

☆動物公園でも掘りを開催しました

11月19日(土)いも掘りを開催しました。天候やいもの出来が心配されましたが、無事催行できました。また15人ものボランティアの方にもご協力いただき、大盛況でした。

☆「ほっとコピエ」が完成

「みどり生きものサポーター安佐動物公園募金」の寄附で整備したケープハイラックスのための暖房装置「ほっとコピエ」が完成し、12月23日(祝)にお披露目式を開催します。

この暖房装置は、野生のケープハイラックスが生息している岩山を擬岩で再現したもので、寒い時期に体温維持が難しいケープハイラックスの生活環境や福祉向上のために整備したものです。(コピエ【kopje】とはケープハイラックスがすんでいるアフリカのサバンナにある岩山のことです)



いも掘りの様子



「ほっとコピエ」設置中

◎お手伝いをお願いします

全ボランティア対象

☆新春子どももちつき体験

日時=1月2日(月)、3日(火)

10:30~15:00

(イベント開始は11:00~と14:00~)

募集人数=15人程度

もち米の準備、丸め作業、お客様の案内など。



新春子どももちつき体験

☆新春 動物かるたで遊ぼうよ!

日時=1月8日(日)

9:20~12:00

(イベント開始は10:00~、11:00~)

募集人数=15人程度

受付、かるたの立ち合いなど。

☆落ち葉でやきいも作り

日時=1月15日、22日(日)

10:00~12:00

(イベント開始は11:00~)

募集人数=15人程度

やきいもの準備、お客様の補助など。



落ち葉でやきいも作り

ガイドボランティア対象

☆バックヤードガイド

日時=毎週土曜日 11時~、13時半~ いずれも約30分程度 募集人数=2人程度 飼育係による裏側案内の補助、参加者の整理誘導など。

※毎月最終土曜日の午前は「サンちゃんツアー」、午後は「クロサイのハナに会いに行こう」

平成28年度 ZOO & ボラ予定表 (H29 1月1日～1月31日)

月日	安佐ZOO				ZOOボラ	
	イベント	バックヤードガイド		解説	作業	
		AM	PM			
H29 / 1	1 日	臨時開園・干支の引継ぎ式・おみくじ等販売				
	2 月	お正月行事「新春子どももちつき体験」・おみくじ等販売				
	3 火	お正月行事「新春子どももちつき体験」・おみくじ等販売				
	4 水					
	5 木	休園日				
	6 金					
	7 土		病院	クマor 夜行獣		
	8 日	お正月 動物かるたで遊ぼうよ!				
	9 月	お客様感謝デー入場無料 缶バッジ作り				
	10 火					
	11 水					
	12 木	休園日				
	13 金					
	14 土		ヒヒ山	ライオン		
	15 日	落ち葉でやきいも作り				
	16 月					
	17 火					
	18 水					
	19 木	休園日				
	20 金					
	21 土		ゾウ	スイギュウ		活動日
	22 日	落ち葉でやきいも作り			ひつじ村	
	23 月					
	24 火					
	25 水					
	26 木	休園日				
	27 金					
	28 土		サンちゃん ツアー	クロサイの ハナ		
	29 日					
	30 月					
	31 火					

☆ この予定は「ずうぼらだより」発送時の予定です。変更される場合も有りますので、活動時などには確認してください。

★ 作業ボラの作業内容については天候等で変更されることもあります。詳しくはその都度確認してください。

平成28年度 ZOO & ボラ予定表(2月1日～2月28日)

月日		安佐ZOO				ZOOボラ	
		イベント	バックヤードガイド		解説	作業	
			AM	PM			
H29 /2	1	水					
	2	木	休園日				
	3	金					
	4	土		病院	キリン		活動日
	5	日	動物まんがクイズラリー			連絡会	
	6	月				10:00～ 動物科学館2階	
	7	火					
	8	水	第13回安佐動物公園・植物公園・昆虫館研究活動発表会				
	9	木	休園日				
	10	金					
	11	土	バレンタインデーは動物公園でデート (～14日)	ぴーちく	調理		
	12	日	動物まんがクイズラリー 動物愛好会例会				
	13	月					
	14	火					
	15	水					
	16	木	休園日				
	17	金					
	18	土	ボランティア(動物ガイドグループ)養成講座第1回	トラ	ラクダ		活動日
	19	日	ボランティア(動物ガイドグループ)養成講座第2回 動物まんがクイズラリー				
	20	月					
	21	火					
	22	水					
	23	木	休園日				
	24	金					
	25	土		サンちゃん ツアー	クロサイの ハナ		
	26	日	動物まんがクイズラリー			ひつじ村	
	27	月					
	28	火					

★ この予定は「ずうぼらだより」発送時の予定です。変更される場合も有りますので、活動時などには確認してください。

★ 作業ボラの作業内容については天候等で変更されることもあります。詳しくはその都度確認してください。